



羽田空港「空の日」フェスティバル2012における YS-11 量産初号機の特別公開について

独立行政法人国立科学博物館(館長:近藤 信司)は、平成24年9月22日(土)開催の「羽田空港『空の日』フェスティバル2012」において、YS-11 量産初号機の特別公開を行います。

YS-11 は戦後、我が国の航空機製造事業の期待や人々の夢や誇りを一身に受けて開発生産された国産飛行機です。当館所蔵の機体は栄えある量産1号機(製造番号 2003)であり、YS-11 の中でも記念碑的な機体です。羽田空港において最古の格納庫とも言われる T-101 の中で、戦後復興の象徴でもあるYS-11 を間近に見学できる貴重な機会となっています。

【開催期間】 平成24年9月22日(土) 10:00~16:00(受付は15:30まで)

【会場】 羽田空港 旧整備場地区 T-101 格納庫

【交通】 京急線、東京モノレールの天空橋駅下車、徒歩 10 分(駐車場はありません)

※羽田空港「空の日」フェスティバル2012の詳細はホームページ「空の日ネット」をご覧ください。

<http://www.soranohi.net>

本件に関するお問合せ先

◎YS-11 について

独立行政法人 国立科学博物館

理工学研究部 科学技術史グループ長 鈴木 一義

〒305-0005 茨城県つくば市天久保4-1-1

TEL:029-853-8379

E-mail:k-suzuki@kahaku.go.jp

◎特別公開について

独立行政法人 国立科学博物館

事業推進部 連携協力課長 高尾 敏史

〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20

TEL:03-5814-9860 FAX:03-5814-9898

E-mail:renkyo@kahaku.go.jp

羽田空港「空の日」フェスティバル2012 YS-11量産初号機の特別公開

国立科学博物館では、羽田空港「空の日」フェスティバル2012にあわせて当館所蔵のYS-11(量産初号機)を公開します。

公開日時 平成24年9月22日(土)10時～16時(受付締切15時30分)

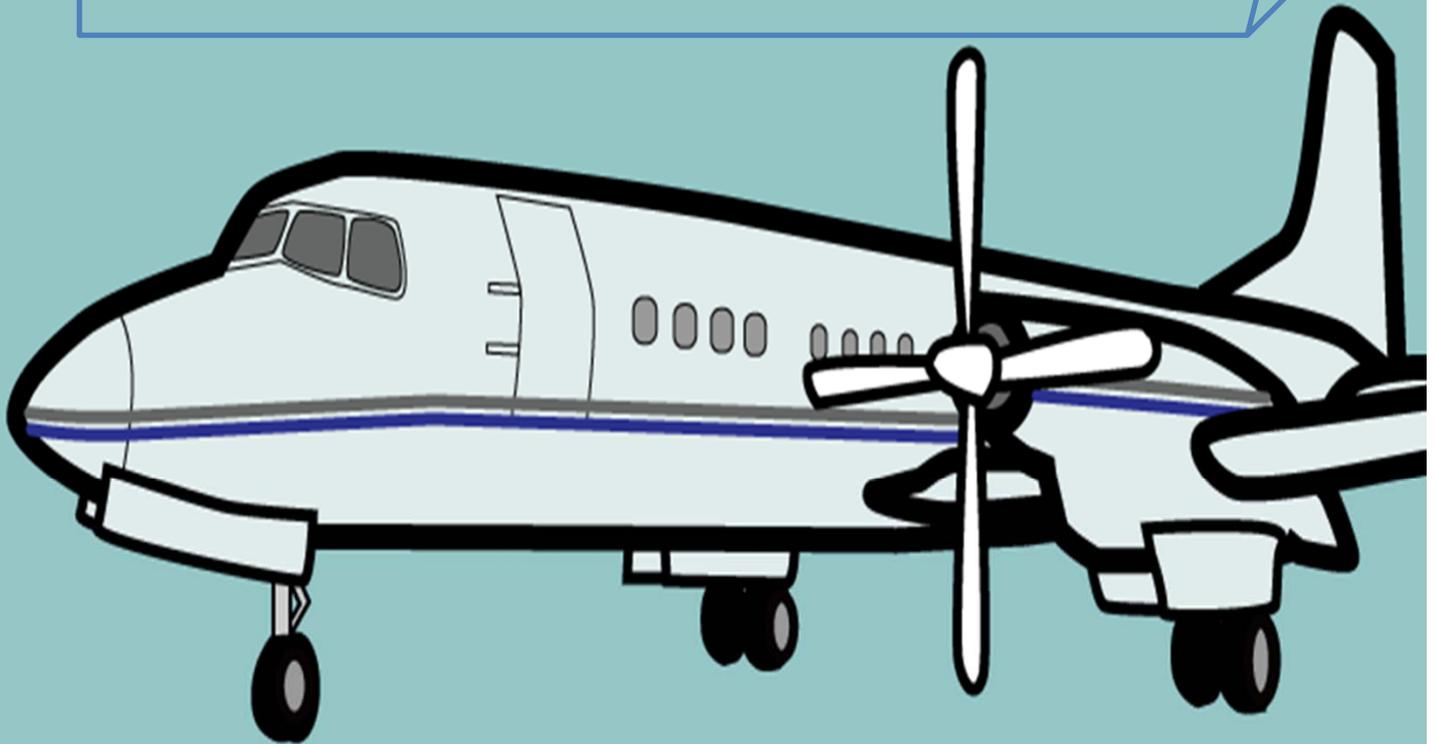
場 所 羽田空港 旧整備場会場
京急線・東京モノレール 天空橋駅下車徒歩10分(駐車場はありません)

主 催 羽田空港「空の日」実行委員会

お問い合わせ

羽田空港「空の日」実行委員会事務局
TEL 080-3910-4337

詳しくはホームページ「空の日ネット」をご覧ください <http://www.soranohi.net/>



YS-11量産初号機(JA8610)

国立科学博物館が所蔵・保管しているYS-11機は、運輸省航空局(当時)が使用したもので、我が国航空機製造事業の期待を一身に受けた栄えある量産1号機(製造番号2003)として、生産された全YS-11機中一番若い機体登録番号JA8610(1965年3月取得)を与えられている。

本機は、昭和39(1964)年10月23日に初飛行し、昭和40(1965)年に運輸省航空局に引き渡され、「ちよだⅡ」と命名された。以後、飛行検査用として運用され、最終飛行となった平成10(1998)年12月までに2万時間を超える飛行実績を持つ、試作2機*のYS-11につぐ最古の機体のひとつであり、YS-11のなかでも特に記念碑的価値の高い機体である。

国立科学博物館では、我が国の航空機史上重要なYS-11機を出来る限りオリジナルに近い形で保存するために、移管を受けた平成11年から現在まで、年間約4回の定期点検を継続的に実施し、メンテナンスとともに経年変化なども記録することで、将来的な産業遺産分野における文化財保存のデータ収集も行っている。

* 試作1号機は、成田航空博物館に屋外展示(国内に他8機)。試作2号機は廃棄解体。本機は製造順では3号機。



最後のフライト, 平成10(1998)年



格納庫内での保存状態, 平成23(2011)年



国立科学博物館

<http://www.kahaku.go.jp/>